



# Annual Report 2010 → 2011 〈暫定公開版〉

挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に  
**NPO法人 G-net**



# 代表挨拶

01年10月に取り組みを始めたG-netの活動も本当に多くの方々に支え応援を頂き、この10月には11年目を迎えることとなります。10年間、長かったようでもあり一方本当にあつという間だったなあという感覚でもあります。振り返ってみると、様々なヒトやコトとの出会いを頂き、たくさんの教えていただき、気づかせて頂いた日々の連続だったと感じます。

これまで、多くの方々にお世話になり、支えていただいたからこそ、ようやくここまで取り組みを重ねさせていただいたんだ、と感謝の気持ちでいっぱいです。

ようやく04年より取り組んできた「長期実践型インターン」事業も、活動の輪は広がり11年度には年間50名を超えるマッチングを見込むなど、あと一歩のところまで皆様に育てて頂いてきたという状況になりました。また、大学や行政との連携も地道に広がりを見せています。

加えて要望の多かった、夏休み・春休み期間内で完結する1か月集中型の「地域協働型インターン」プログラムも10年度よりサービスインし、より多くの学生・企業・大学に参画を頂いています。

より多くの若者にチャレンジの機会を提供していくべく、またより良質なプログラムを目指してまだまだ精進すべきことは山積しています。悲願であるインターン事業の自立化も道半ばではありますが、しかしもうあと一歩というところまでやってきているようにも感じています。

そんな中で、インターン事業の次の打ち手へも視点を移していくべきタイミングにも至りつつあるかと思えます。地域企業と若者とのより踏み込んだつなぎ役として就職／採用支援事業への展開や、地域や若者を取り巻く課題研究といった取り組みにも今年度より着手してまいります。

3年後・5年後を見据えた中で、G-netは本当に地域を変えていく存在になれるのか、いま一度見つめ直し、地域課題から取組みを設計していきます。

G-netは地域で、チャレンジをする人々を応援し、つなぎ、そしてスポットライトを当てる演出家でありコーディネーターであれればと思っています。G-netに縁あるすべてのヒトが、この地域という舞台上、それぞれが主役になり、そして脚光を浴びる。そんなチャレンジを共に歩む存在であり、地域に点在する意欲や熱意ある方々をつなぎ、更なる仕掛けを生み出す存在でありたいと思っています。

舞台上に上がり、それぞれがそれぞれの出番と役割で輝くヒトが増えることこそが、本当の地域活性化であると確信しているからです。

09年度より、改めてG-netのありたい姿として以下のキーワードを定めました。

G-netは挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に。

こうしたことも、多くの出会いの中で気づかせていただきました。

地域変革は、特定の誰かによってなしとげられるものではないと感じます。

本日も、そしてこれからも主役は、G-netではありません。きっかけから、一歩を踏み出した地域で挑戦を重ねる若者、そして経営者やオトナの方々こそが主役。

そんなG-netをどうぞ皆様に支えて頂き、そしてぜひ、一緒にチャレンジを！

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人G-net  
代表理事 秋元 祥治

# G-netのロードマップ

## 第一フェイズ 主体者としての挑戦

トークライブ  
カウントダウン GIFT  
ビーンズフェスタ

- ・01年10月 期間限定団体(6ヶ月)として立ち上げ
- ・トークライブイベントを定期開催
- ・「カウントダウンイベント」を開始(01~04)
- ・岐阜の枝豆と、夢のマメを応援する夏祭り「ビーンズフェスタ」を開始(02~07)



ビーンズフェスタ2002

フリーペーパー  
笑いと感動のまちづくり

- ・03年5月 NPO法人格取得
- ・フリーペーパー「ORGAN」・「Beans!」(03~07)
- ・初の行政受託「笑いと感動のまちづくり」(03~05)



カウントダウン GIFT

## 第二フェイズ 伴走者としての挑戦

ホンキ系インターン  
U・ターン支援

- ・経産省/チャレンジコミュニティ創成事業採択(04~06)
- ・「ホンキ系インターン」事業開始(04~)
  - ・高知/横浜国立大/中京大等 単位化開始(06~)
  - ・岐阜信用金庫との連携開始(06~)
  - ・岐阜大/四日市大/日本福祉大等 授業開始(07~)
  - ・三重県庁「東紀州事業」開始(08~11)
  - ・名古屋産業大・名古屋大との・愛知県大 連携開始(09~)
  - ・管理データベース セールスフォースの導入(10~)
  - ・地域若者チャレンジ大賞 大賞受賞(10)
  - ・愛知県庁と連携した愛知県内展開 開始(10~11)
- ・地域協働型インターン事業開始(10~)
- ・岐阜県「U・ターン促進事業」協働開始(04~06)



ORGAN

月曜セミナー  
学生部創設

- ・若者向け「ゲツベン」「経営者セミナー」開催(06~)
- ・学生部「3charge」発足(09~)



ゲツベン

創業・独立支援  
かけたす・東海若手起業塾

- ・経産省/創業支援フォーラム・創業塾開催(06~)
  - ・各務原商工会議所(08~)
  - ・岐阜商工会議所(09~)との連携 等
  - ・社会起業フォーラムの開催(08)
  - ・一般社団法人SRプラットフォーム参画(11)
- ・インキュベーションオフィスかけたす(07~09)
- ・ブラザー工業協賛「東海若手企業塾」(08~)
  - ・岡崎市ソーシャルビジネス支援事業(11)



チャレンジするヒトを応援したい

## 第三フェイズ 「コミュニティづくり」への挑戦

つながりコーディネート  
コミュニティづくり

- ・連携創出のための交流会(06~)
- ・経産省「新連携」「地域資源活用プログラム」等採択(06~)
- ・創業希望者と既存事業者のマッチング支援開始(07~)
- ・経営力向上にむけ理事会改組(09)
- ・賛助会員制度の発足(10)
- ・ホンキ系WEBサイトリニューアル(11)



ホンキ系WEBサイト

チームで運営を行う  
地域変革のエンジンへ

- ・東日本大震災復興支援活動(11~)
- ・地域の若者応援基金の新設
- ・岐阜地域・大学生向け地域活動支援センター開設
- ・「地域活性と中小企業と若者」白書発刊

# G-netの事業戦略

## ■G-netミッション

**挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に！**

**思いを言葉にし、言葉を行動に変えていく起業家的・創造的人材の育成を通じ地域活性化に貢献する。**

## ■G-net経営方針

- ▼起業家的な若者を育む機会として、社会の中で魅力ある師匠の下、ホンキな挑戦・機会の提供を通じてミッション実現をめざす。
- ▼若者/女性/高齢者の再チャレンジを支援し、地域資源を活かしたコミュニティビジネス・社会起業の創出を支援していく。
- ▼経営/意思決定/運営に若者や地域の人々がコミットする組織構造を目指し、事業収入/会費/助成金の健全なバランスを保ち、持続可能な経営を実現していく。



## ■事業実施のポイント

**意欲ある人々のチャレンジを支援し  
共感を呼ぶ成功事例を創出し、挑戦を誘発していく**

## ■コア事業

**ホンキ系  
インターンシップ**

ホンキ系インターン



創業・経営支援

## ■G-netの存在意義は？

- ・地域であり、地域産業を担う主体的/自律的な人材を育む仕掛けや、取り組みが必要だ。
- ・大学を真に地域に開かれ、社会に有用な人材育成の場への転換は、我々が担うべき役割だ。
- ・都会より地域、大企業より小企業、衰退より革新・新たな社会での生き方像を示し、ひっくり返す存在。
- ・本当に地域を変えていくことにこだわる。  
活動することだけでなく、変革をし、成果を上げることにこだわりきる。

# 2010年度事業 概況

## ■収支

収入 56,805,602円 (前年度:40,793,816円 前年度比:139.2%)  
 支出 55,332,103円 (前年度:36,624,303円 前年度比:151.0%)  
 収支差 1,473,499円 (前年度:4,169,513円 前年度比:35.3%)  
 債務超過 -2,742,969円

事業収入 89.9% (自主財源23.2%・行政委託66.7%)  
 補助・助成 5.7% その他 4.4%

## ■インターン事業

売上 36,891,831 (前年度:26,935,449)円 (売上に占める割合64.94%)  
 長期実践:マッチング件数 のべ30(前年度:26)社 41名(前年度:33)名  
 (前年比 +のべ4社 +8名)  
 地域協働:マッチング件数 のべ12社 29名  
 フェア・説明会参加学生数 441(前年度:243)名 (前年比+198名)  
 愛知県/三重県事業、内閣事業等を新規受託

## ■創業支援事業

売上 5,077,596(前年度:8,584,174)円 (売上に占める割合8.94%)  
 主要事業:東海若手起業塾、農商工連携支援セミナー

## ■その他

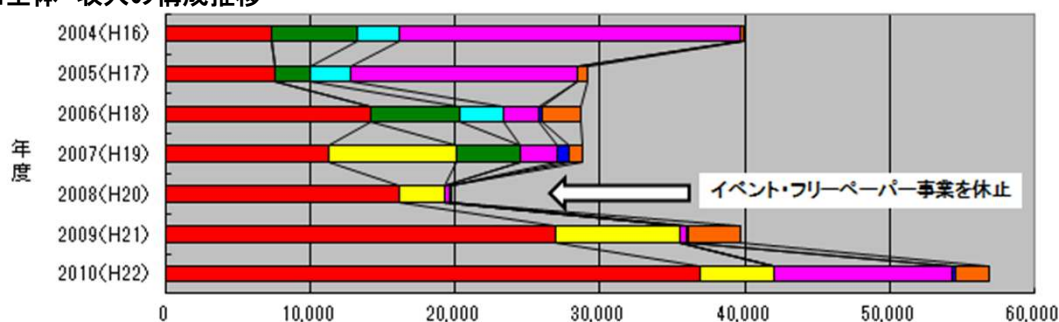
売上 12,353,124円(前年度:604,112)円  
 ※岐阜県緊急雇用事業の単年度受託

## ■メディア掲載・受賞

メディア NHK「関口知宏のオンリーワン」、書籍「社会起業家の教科書」など

## ■全体 収入の構成推移

収入内訳の推移



	2010(H22)	2009(H21)	2008(H20)	2007(H19)	2006(H18)	2005(H17)	2004(H16)
■インターンシップ	36,891,831	26,880,211	16,128,726	11,254,835	14,162,252	7,524,463	7,297,196
□創業支援	5,077,596	8,584,174	3,104,047	8,778,841	0	0	0
■イベント	0	0	0	4,467,603	6,210,613	2,420,926	5,936,034
□フリーペーパー	0	0	0	0	3,014,300	2,870,850	2,943,269
■その他	12,353,154	548,046	432,190	2,580,716	2,387,915	15,605,987	23,526,573
■雑収入・受取利息	155,322	120,967	9,181	735,615	172,788	52,453	12
■会費・寄付金	2,328,030	3,533,769	0	999,475	2,713,600	654,116	263,000

# ホンキ系インターンシップ

追い風を受け、インターン事業は確実に成長。課題は更なる規模拡大とサポート向上

# 10

# 36

受入企業  
(のべ)

社 ← 26社

# 41

インターン  
学生数

名 ← 33名

# 10

連携大学

大学 ← 9大学

## ■参加学生・企業数の増大

- 受入企業や、MIJP、momoの紹介等による受入企業の拡大。
- インターンOBOGら主体の実行委員会体制で、フェア参加者数が大幅増加。

## ■スタッフ増員、体制強化

- 行政事業採択を通じ、コーディネーターを4名新規採用。
- 休学を活用したインターン生2名(羽田、早川)による、安定した事業サポート。

## ■学生ボランティア組織「3charge」の活動継続

- インターンOBOGの関わりが増加。
- セミナー、PRチームなど、学生主体での取り組みが継続開催。



大橋量器のイベント出展にて

2012年悲願のインターン事業自立化に向け、一層の事業加速と大学との連携強化。

# 11

# 45

受入企業  
(のべ)

社 ← 36社

# 65

インターン  
学生数

名 ← 41名

# 12

連携大学

大学 ← 10大学

## ■マッチング件数の拡大

- 内閣府/愛知県予算を活用した地域協働型インターンを補助ロケットに、ホンキ系インターンのマッチング件数の拡大を目指す。

## ■インターン事業の質の向上

- インターン推進委員会でペースメイクをしながら、脱「属人的品質」のためのマニュアル化、ルール設定を進める。
- 研修を通じたコーディネーターのスキルアップを目指す。

## ■インターンの前後フォローとしての新規事業

- 岐阜大学・金城学院大学との連携による「魅力発信事業」の推進。
- 岐阜県産業経済振興センター受託「逆求人フェスティバル」など、インターンOBOGのその後へのアプローチを進める。

## ■三重県インターン事業の独立

- 三重県版G-net「かんぴんたん(仮)」の独立立ち上げ支援。



2011年より開始する岐阜大学連携講座

# 地域協働型インターンシップ

ホンキ系インターンのエッセンシャル版として、1ヶ月集中型インターンを新たに始動。

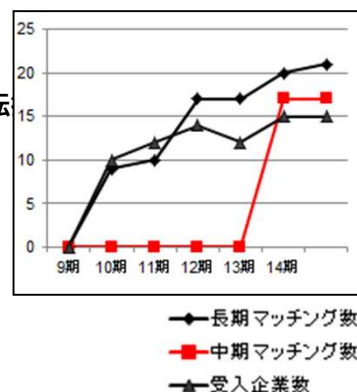
# 10

10社 ← 0社 (受入企業 (のべ))  
 29名 ← 0名 (インターン 学生数)  
 2大学 ← 0大学 + 1大学 (連携大学) コンソーシアム

## ■どんな意味があったの？

1. 学生向けマーケティングの方向転換  
 -ピラミッドの上層のみをターゲットとするマーケティングから、  
 下層にいる学生をも促し、育て上層へ押し上げるマーケティングに転
2. 大学・企業とのより広範な連携をつくるためのチャレンジ  
 -岐阜大学、日本福祉大学での公式プログラムとしての採用  
 -大学コンソーシアム岐阜との連携、三重大学での単位化も視野

一定の数を実施できたことによる事業成果、岐阜大学との連携から、  
 コンソーシアム事業へのつながりを生むことができたこと、加えて、  
 社内研修やマーケティングの方向を定めるうえでの仮設検証が  
 できたことが大きな成果として挙げられる。



より広くより多くの若者に挑戦機会提供へ  
 地域への愛着を育むプロジェクト設計へ！

# 11

18社 ← 10社 (受入企業 (のべ))  
 45名 ← 33名 (インターン 学生数)  
 3大学 ← 2大学 + 1大学 (連携大学) コンソーシアム

## ■より広く、より多く

- 岐阜大学・名古屋大学との連携による「魅力発信事業」の推進。
- ホンキ系インターンへつながるチャレンジをより広範囲で数多く生み出す。

## ■地域への愛着を生むプロジェクトの創出

- 地域おこしの現場を受入企業先へ。より地域密着型のプロジェクトの実施を通して、地域への愛着を生み、育む事業へ。

## ■次年度以降の自立化への模索

- 内閣府／愛知県予算を活用した地域協働型インターンを、来年度は自主事業として自立させるか否かの模索期として。



アルクカフェ店長・副店長

# 受入企業満足度調査

## 調査の目的

長期実践型インターンシップに対する受入企業様のニーズを把握し、コーディネート団体として、今後G-netがいかにサポート体制を改善していけるのかを検討する基礎資料とするため、アンケート形式による満足度調査を実施しました。  
本アンケート調査には多くの方々にご協力いただき誠にありがとうございました。

## 調査概要

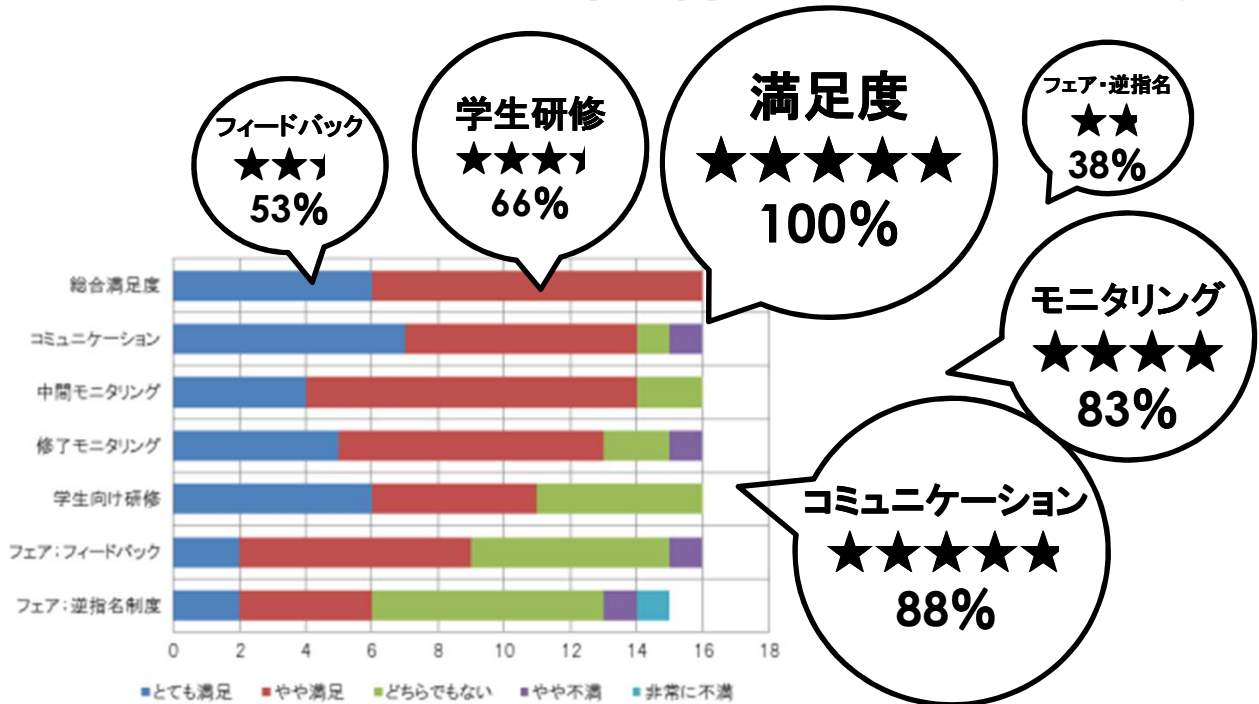
- ・調査実施方法: インターン受け入れ実績がある企業に対して調査票を郵送
- ・調査実施期間: 2011年5月17日～6月10日
- ・調査対象企業数: 21社
- ・回答数: 16社

## ■調査結果1

G-netサポート体制について

全体的に満足度高め。

インターンフェアの形式・学生向け研修の共有に課題。



	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	非常に不満	フェア不参加
G-netサポートの総合的な満足度	6	10	0	0	0	
担当コーディネーターとのコミュニケーション	7	7	1	1	0	
中間モニタリングの内容・実施頻度	4	10	2	0	0	
修了モニタリングの内容・タイミング	5	8	2	1	0	
学生向け研修がインターン生に与える影響	6	5	5	0	0	
インターンフェアのフィードバック(アンケート等)	2	7	6	1	0	0
インターンフェアの「逆指名制度」	2	4	7	1	1	1

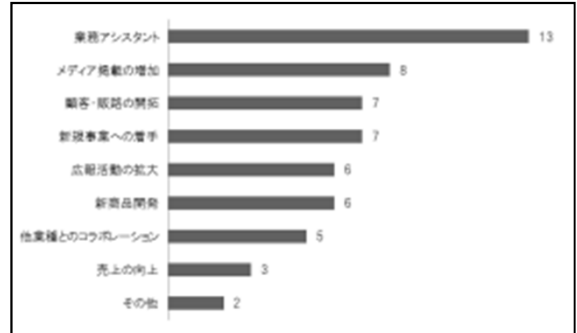


## ■調査結果2

インターン生が残した事業成果

※複数回答可

**業務アシスタントとしての効果が最も高い。事業拡大・加速を助ける役割を担うケースも。**



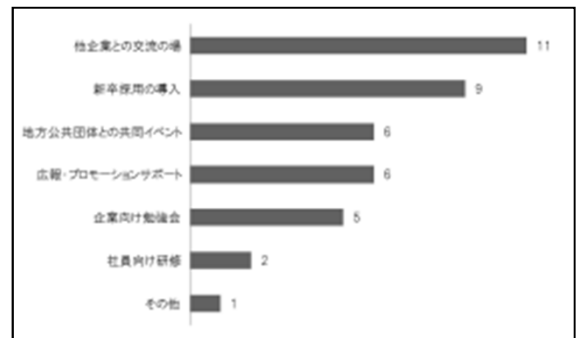
▲調査結果2

## ■調査結果3

インターンシップ以外にG-netに期待するサービス

※複数回答可

**コミュニティハブとしての存在を期待。新卒採用の導入など就業支援サービスの可能性。**



▲調査結果3

## ■調査結果4

長期実践型インターンシップ事業に関するご意見・ご感想(自由記述、一部抜粋)

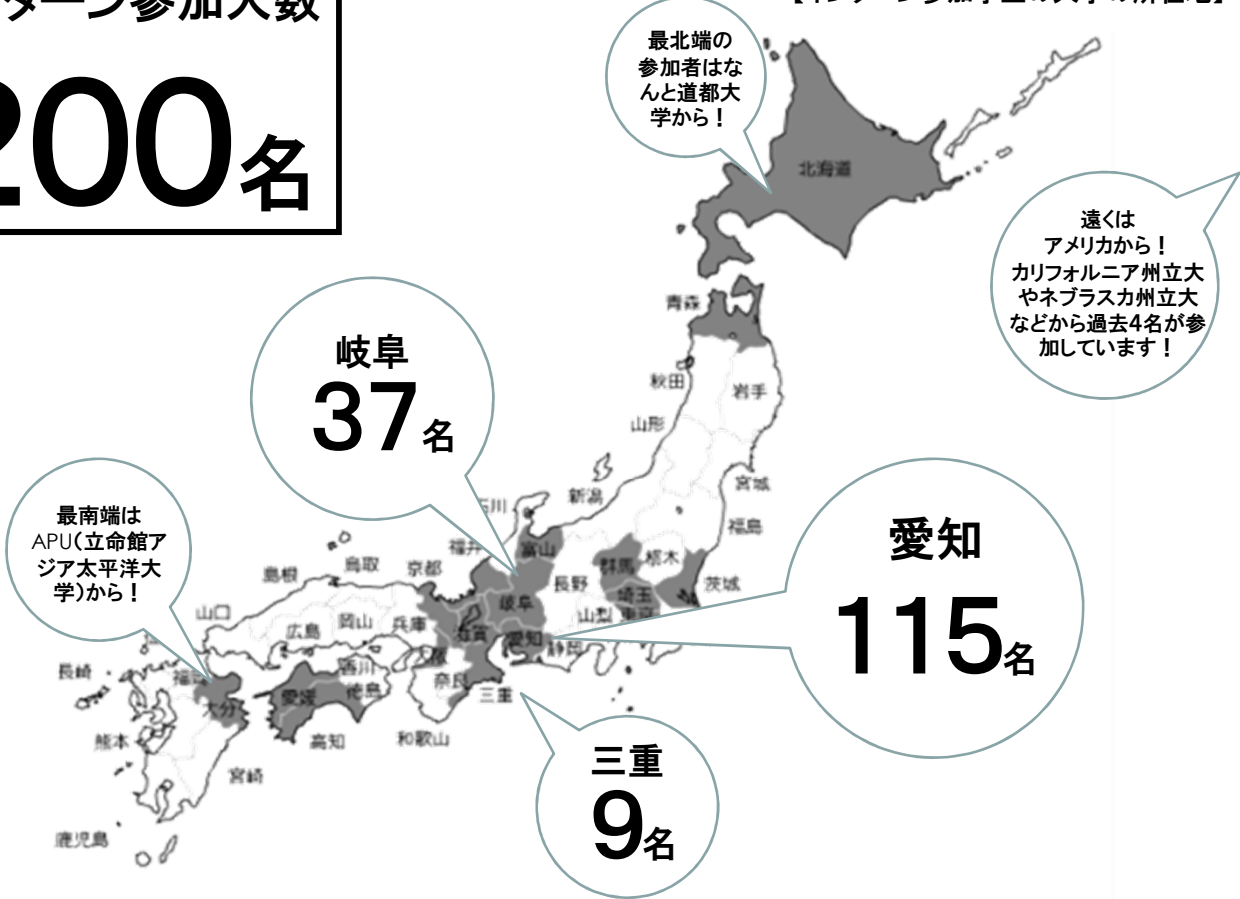
- ・インターンシップ事業の最大の成果は、企業の成長であることは間違いないと思います。支持される会社であること。人を惹きつける魅力的な事業であること。正しくあること。人を育てること。その全ての要素がインターン事業にあると思います。
- ・企業にとって若い人たちが入ることで、活気が出るのは大変良いことだと思います。
- ・人手のない中小零細企業が、やりたくても手が出せなかったことに取り組むことができるようになったり、新しいことにチャレンジする時に純粋に取り組みを頑張ってくれるインターン生はとても良いと思います。
- ・実際に新入社員が入ったときのイメージがわかりました。
- ・経営者にとって挑戦できる範囲が広がる。
- ・企業側にとって、インターン導入のメリットを(G-netが)どう提案するかが重要だと思います。企業ごとに状況が異なるので、インターンを導入してどうなるかの計画づくりをサポートする必要があります。
- ・G-net、学生、受入企業、地域社会のすべてが得するモデルを構築したいですね。そのためには、それぞれ人間のレベルが一定ラインを超えないと厳しいのではないかと考えています。
- ・受入企業がどれだけ真剣にインターンについて受け止めるかと言うことが大事だと考えます。限られた期間や身分が学生ということを考えすぎると、お願いできることの幅に制限が発生してしまいます。もともとやる気満々の学生が夢と希望を持って青春の貴重な時間を使ってインターンするのですから、受け入れ側も全力でその気持ちに応える覚悟がなければ、お互いの気持ちも継続するのは困難になってしまいますし、当然に成果は限られてしまうと思います。

# インターンシップのこれまで

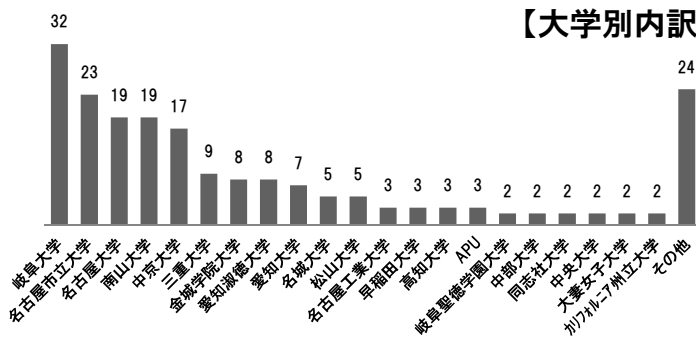
インターン参加人数

**200名**

【インターン参加学生の大学の所在地】

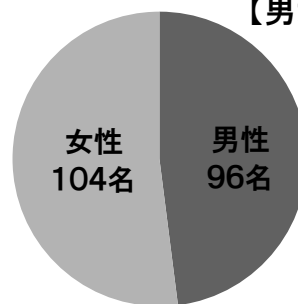


【大学別内訳】



参加学生数ナンバー1は岐阜大学。愛知では名古屋市立大学や名古屋大学、南山大学、中京大学の学生が多い。全国からは道都大/弘前大/福井大/松山大/高知大/APUなど。

【男女別内訳】



かつては男性の参加者が圧倒的に多かったが、近年では女性の参加者が増えつつある。2011年春スタートの学生に至っては76%が女性。

インターンOBOGが増えたことで、主要な大学に「インターン・コミュニティ」が出来つつある。各大学へのOBOGの声かけにより、より多くの学生に声を届けられるようになってきた。また、イベントの運営自体も学生部「3charge」を主体としたOBOGが中心になって進めてくれているため、より想いの伝わるものになってきたように感じる。

# インターンOBOGのその後

インターンを経験後、社会でご活躍されているOBOGの方々を一部ご紹介させていただきます。



西願 将也さん

**溜まり醤油とみその蔵元・山川醸造へ就職しイノベーションの担い手に。岐阜の魅力を発信すべく活動を展開。**

インターンシップ生として働いた山川醸造へ、就職。営業マーケティングマネージャーとして、新規開拓営業から商品開発、蔵元を開放した食のイベント企画を担当。山川社長と二人三脚、3年働いたのち2011年6月退社。現在は、さらに岐阜から全国へそして世界へと、岐阜の魅力を伝えるべく県の事業に参画中。その名も【岐阜印】これぞ日本！プロジェクト。MIJPの一員として岐阜を発信中！みんなの力で岐阜を世界の岐阜に！



松尾 早希子さん

**インターンで育まれた人々とのつながり。東紀州へ1ターン。地域特産の「熊野地鶏」のPR・販売促進に奔走。**

大学進学と同時に名古屋へ移り住む。地元である佐賀と東紀州の田舎という共通点に惹かれ、石本果樹園へのインターンを決意。のちにG-netで1年間のインターンを経て、これらの経験を活かすべく、東紀州へ1ターンし、紀和町ふるさと公社へ就職。現在は人口1400人の紀和町に移り住み、「地鶏娘」として熊野地鶏のPRに日々、取り組んでいる。昨年度のチャレンジフォーラムのプレゼンターでもある。



平野 佑果さん / 中崎 彩さん

**インターン経験後、自分でも事業を取り組みたいと大学3年次に起業。名古屋・那古野で古民家カフェ経営中。**

2名とも名古屋市立大学経済学部4年(現在、休学中)。2009年、平野さんは山川醸造で、中崎さんはG-netでインターンを経験。インターン後、2010年11月に中崎さんは店長、平野さんは副店長としてに名古屋・那古野に古民家を改修したカフェ「Aiku cafe」を開店。築80年の古民家を改築した店内は、昔懐かしさを感じさせる落ち着いた空間になっている。店のコンセプトは「秘密基地」。



山本 慎也さん

**インターン経験を生かしITベンチャーで独立。家業である伊勢志摩の真珠加工・卸業のWEB販売を手掛ける。**

中部大学工学部出身。「起業したい！」という思いで大学3年の時に、WEBマーケティングを手掛けるゴッターライドでインターン。その後、東京のITベンチャーの名古屋支社立ち上げに携わり、2008年に創業。地域に密着した中小企業のWEB制作・販売支援を行い、現在は家業「志摩山本真珠」のWEB通販事業を担っている。

# 受 入 企 業 コ ラ ボ 商 品

## 助六枡

水都・大垣の宴席を盛り上げる助六オリジナルの酒器。職人が丁寧に仕上げた美しい曲線と木のぬくもりが特徴。料亭の粋な感覚と伝統の技のコラボレーションにより誕生しました。



四季料亭 助六 中村 千景 女将

### 助六枡は

2010年9月から、水都大垣の宴席を盛り上げる一つのモノとして助六女将が大橋量器さんに制作依頼し、作って頂いた酒器でございます。細かい部分まで打ち合わせを行い、大垣の良さを知ってもらい、地元色を表現しようという思いを込めて作成された枡でございます。大垣で有名な枡を、私たち同じ地元の料亭という場に加え、宴席という場で各地色々なところからお越しになった人たちに大垣×料亭×枡をこの「助六枡」で、美味しいお酒をこの「助六枡」でお楽しみになって帰って頂けたら幸いです。



助六 ×



## 美濃醤油かりんとう

山川醸造のこだわりのたまり醤油をつかった懐かしくて優しい甘みのかりんとうです。いぶきの仲間たちがひとつひとつ丹念に手作りで製造しています。



### 美濃

醤油かりんとうは、山川醸造さんから「たまり醤油を使ったかりんとうを作りたい」とのお声をいただき、商品が誕生しました。当初は山川醸造さんの商品としてのみ販売されていたのですが、今は「ねこの約束」ブランドとしても販売しています。山川醸造さんとはたまり醤油を使ったマドレーヌなどもつくらせていただいています。



いぶき福祉会 北川 雄史 第二いぶき施設長

### 夏

はつくることのできない自社製品の「醤油チョコあられ」に変わる商品を開発しようと考えていました。その時に、大人にも子供にも人気の定番のお菓子であるかりんとうがあり、いぶき福祉会さんにお声をかけさせていただきました。

かつてのインターン生と企画した醤油スイーツのスタンブラリーで、「はちみつ醤油バター」とセットにして販売できるものを探していました。そこでエルクアトロギャッツさんのおしょうゆベーグルを置かせていただくことになりました。



## おしょうゆベーグル (のり/ざらめ)

「のり」は米粉の練りこんだベーグル生地こだわりの醤油を塗りました。その上にきざみのりをたっぷりトッピング。とってもおいしい和のお惣菜ベーグル。味はまるで、「おにぎりせんべい」のよう。「ざらめ」は米粉の練り込んだベーグル生地にこだわり醤油をたっぷり塗って、ざらめをトッピング。焼き上がりはこんがり。まるで、「おばあちゃんのポタポタ焼き」のような味わい！



### 塩

きやらめるスコーンは夢古道おわせの伊東さんや大橋量器の大橋さん、G-netの秋元さんと食事している時に「一緒に何かやりたいよね」というひと声から始まりました。尾鷲の海洋深層水をつかった塩と弊社のスコーンで尾鷲の魅力をアピールする商材になればと思っています

## おしょうゆ

ベーグルは、なにか岐阜のモノを使った新しい試みをしようと思ったときに岐阜のたまり醤油がありました。「醤油×ベーグル」という未だかつてないアイデアはこだわり抜いた醤油をつくられている山川醸造さんだからこそ完成できました。



アリス開運堂 河瀬 友作 専務取締役



山川醸造 山川 晃生 代表取締役社長

## オモヒデトジコメマス。

「オモヒデトジコメマス。」は、あなただけの旅の思い出の品を閉じ込めて、いつまでも大切に飾っておくためのハンドメイドキット。その入れものは、美しい木目と癒しの香りを持つヒノキの枡。思い出をきれいに見せながら、いつまでも色あせる事なく保管します。使用済みのきつぷや拾った石、お店で買った小物など、あなたの旅を記憶する「カケラ」を閉じ込めてください。



## オモヒデ

トジコメマスは、昭和技研(株)のおもひでプロジェクトの商品のバージョンアップ商品として誕生しました。当初、トジコメマスは、本当に閉じ込めるのではなく、通常のマスにオリジナル焼印をするだけのものでした。しかし、手軽に思い出を閉じ込める商品として会議を重ね、サンプルを作成し、現在のトジコメマスが完成しました。素材同士うまく組み合わせがしにくい木とアクリルを、融合できたのは大橋量器さんのおかげです。

## 助六

さんとの「助六枡」は同じ大垣市のつながりから始まりました。大垣らしいものといえ枡、ということでお声を頂きました。やはり持ち手部分の「くびれ」に苦労しましたが、現場スタッフは大垣のためにと大変頑張ってくれています。



大橋量器  
大橋 博行 代表取締役

## 昭和

技研さんとの「オモヒデトジコメマス。」はフタにアクリルを使っており異素材同士の組み合わせになるため、かみ合わせに苦労しました。ひとつひとつ職人がかみ合わせを確認しながらつくっています。



昭和技研 田中 禎一 代表取締役

## この企画は、

各企業でインターンしている学生さんたちが共同でできる新しい企画はないか？と話しあったところから生れました。勿論、我社と関連している事業で、なおかつ共同参画するメリットのある事業を考えて、実行させようと思いました。そんな時、たまたま受入れ企業として一緒だった夢古道さんと、私どもの作っている、乳がんの患者様に温泉などに入っていたりするための人工乳房を使った企画をしようという自然に話が進みました。それは勿論、同じインターン生受け入れ企業という信頼感と絆が生んだ賜物です。

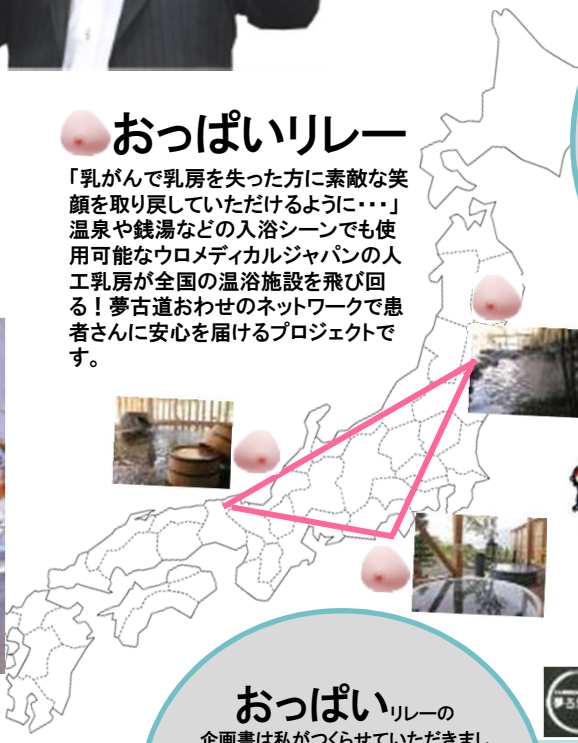
## 塩きやらめるスコーン

夢古道おわせの「古民家かふえ」の大人気メニュー。楽天ショップオブザイヤー賞を受賞した岐阜県大垣市のベーグル屋エルクアトロギヤツとのコラボレーション商品です。尾鷲の海洋深層水の塩をつかったスコーンです。ほんのりする塩味があまーいキャラメルを引き立てます。



## おっぱいリレー

「乳がんて乳房を失った方に素敵な笑顔を取り戻していただけるように…」温泉や銭湯などの入浴シーンでも使用可能なウロメディカルジャパンの人工乳房が全国の温浴施設を飛び回る！夢古道おわせのネットワークで患者さんに安心を届けるプロジェクトです。



ウロメディカルジャパン  
池山 紀之 代表取締役

## おっぱいリレーの

企画書は私がつくらせていただきました。「もしかしたら怒られるかな？」と少し心配だったのですが、池山さんが大変喜んでくださり、「涙が出るほど嬉しいよ」ととても素敵な言葉をいただきました。温泉や銭湯などオープンな入浴の場で人工乳房が使用できることを患者さまに知ってもらい、安心していただけたいと思います。



## 夢

古道おわせの「古民家かふえ」にありきたりではないカフェメニューをつくりたいと考えていました。地域の素材でオリジナル商品考えた時に海洋深層水を使った塩があり、それを使ってエルクアトロギヤツさんとの開発に至りました。今ではスコーンセットは人気メニューで、塩きやらめるの他にはチョコチップや抹茶ホワイトがあります。



夢古道おわせ 伊東 将志 店長

ご覧の通り、受入企業さま同士のコラボレーション商品がこんなにたくさん生まれています。

もしかすると、きっかけはインターン生同士の悩み相談の場だったり、インターンフェアなどのイベントの中での企業さま同士立ち話だったりしたかもしれません。そんな何気ないコミュニケーションの中から、こんなにも愛らしく可愛いステキな商品がたくさんカタチになっています。

# 創業・経営支援

## 外部パートナーと連携した取り組みを継続、東海若手起業塾の取り組みは3期目を終了。

# 10

10年度は、中核事業であるホンキ系インターン事業の拡充を最重点課題と設定し、創業・産業支援部門における取り組みは、多様な外部パートナーとの連携を通じ実施してきました。インキュベーションオフィス「かけたす」は09年度でいったん運用を中止し、商工会議所での取り組みや東海若手起業塾に注力しました。

1. 商工会議所と連携した事業サポート  
→各務原商工会議所と連携を通じて新規創業希望者向けセミナー「創業塾」などを実施。また、個別相談を実施しました。
2. 農商工連携等人材育成講座の実施  
→中小企業庁「人材橋渡し事業」の一環で実施される農商工連携等人材育成事業を受託し、多様な異業種・異分野連携を通じた新規事業の推進を昨年に続きサポート。F-bizセンター長・小出氏らのご協力を得て実施しました。
3. 第3期・東海若手起業塾  
→継続して参画を進め、今年度は外国人留学生の地域産業への就業支援を行う張敬清氏／(株)Keiseiの事業支援を行いました。継続的な事業戦略会議の運営を通じた経営・事業方針策定支援と共に、連携・取引先等の紹介を通じた支援を行いました。



農商工連携セミナー



Tokai Young Entrepreneur Summit(Supported by Beehive Incubator Ltd.)

## 当面は『借り物競走』で取り組みを絞り展開。コミュニティを育み連携を生み出す場づくりへ。

# 11

2011年度は、引き続き中核事業であるホンキ系インターンシップの規模の拡大と質の向上を最重点課題と設定し、創業・産業支援部門における取り組みは「借り物競争」、多様な外部パートナーとの連携を通じて実施していきます。

またチャレンジフォーラムや祝縁会に加え、新たに多様な方々の連携を生み出す交流機会を介していきます。

- 1) 商工会議所と連携した事業サポート  
→各務原商工会議所と連携を通じて新規創業希望者向けセミナー「創業塾」などを実施。また、個別相談を実施していきます。サポートを進めます。
- 2) 第4期・東海若手起業塾  
→継続して参画を進め、公開プログラムには積極的なスタッフ参加をすすめ社内研修機会として活用します。また、愛知県岡崎市におけるソーシャルビジネス支援事業に一部参画します。
- 3) 交流会の企画・実施、事業者間の連携をサポート



事業者間での連携をサポート

# 学生部(3charge)・プロモーション

## 学生部「3charge」の活動を中心に、PR戦略を大転換。段階的な参加機会の提供へ。

# 10

学生部の活動が定着し、継続的な経営者セミナーの開催やインターンフェア等の実施に際し活躍。また、意欲醸成型マーケティングへPR戦略の改革を図りました。

### ■3chargeの活動順調！

—G-net学生部として09年から活動を開始した「3charge」。企業の経営者を招いた経営者セミナー等を開催し、インターンフェア、インターン報告会などの主要スタッフとして、インターン事業をガッチリサポートしてくれました。

### ■学生向けプロモーションの大転換

—意識の極めて高い学生にターゲットを絞った取組から、より広範な学生を対象に意欲喚起を促し、育て上育むマーケティング戦略に転換。  
ホンキ系WEBサイトの構築や、学生による学生のためのコラムなどコンテンツの充実やイベント内容の見直しを行いました。

### ■プロモーションチーム発足！

—学生へのプロモーションを積極的に行う通称「プロモチーム」が学生部の一部として発足。WEBサイトの一端を担い、本格始動へ向けて動き出しました。



ホンキ系インターン HP

## 継続的に学生とのかかわりを持ち、取り組みや思いを発信するWEB・メルマガへ。

# 11

これまでの学生部の活動をより自発的・発展的に取り組むため、各大学支部ごとでの活動の強化と、新たにメールマガジンの発行を通じたプロモーション活動を推進していきます。

### ■学生向けメールマガジンの発行

—ターゲット層へ向けたアプローチとして、学生向けメールマガジンを発行し、継続的なコミュニケーションを図り、フェアへの集客やインターンへの集客・興味喚起へつなげていきます。(ケイタイメール対象)

### ■学生部3charge・各大学支部の設立

—各大学ごとに動ける3charge大学支部を設立。  
授業内告知やフェアへの案内などの活動をよりスムーズに効率的に行う足がかりとし、各支部ごとの積極的な活動を支援します。

### ■経営者セミナーの継続と質の向上

—10年度から始めた経営者セミナーの運営を継続的に行い、学生が地域の魅力的な経営者と出会うチャンスを多く創出するとともに、インターン事業へのつながりを生み出す場として質の向上を目指す。



経営者セミナーの様子

# 事務局・ファンドレイジング

## 社外役員の拡充など基盤強化を推進。事業進捗のPDCA体制の拡充と継続実施。

# 10

多様な方々にご参画を頂き、より高みをめざした事業推進のため理事会の本格的な実施と、インターン事業の加速に向けた外部有識者にご参加いただくインターン運営委員会の立ち上げを進める一方で、新たに、顧問・理事を加え、事業基盤の強化を図ってまいりました。

### ■社外役員の方々

顧問：【NEW】田口義隆氏、鈴木寛氏

理事：【NEW】山口禎一郎氏、田中禎一氏、高橋武秀氏、中島徳至氏(2011.3 退任)

監事：森川幸江氏

### ■ホテルスポーツパルコ協賛「インターン支援制度」

1. G-netの活動終始にご賛同いただき、ホテルスポーツパルコさまより、全国から岐阜に住みこみでインターンに挑戦する若者を対象に、遊休施設を活用した住居施設を実費のみでご提供いただきました。
2. 2010年の夏以降、全8室のシングルルームを提供いただき、計12名の若者が通称「のはら坊」を利用させていただきました。



スポーツパルコ

## より多くの方々に関わり、支えて頂く組織へむけた新制度の導入、体制整備を実施。

# 11

### ■インターン運営委員会の本格実施

- インターン運営委員会の本格的な実施を軸に、来年度以降のインターン事業の自立化へ向けインターン事業の拡大、質の向上を目指し、社内の効率化を図る。

### ■サポート会員制度の確立

- G-netの活動を様々な側面からサポートしていただくサポート会員制度の見直しを行い、皆さまにより参画していただきやすい仕組みづくりを実施。

### ■コンプライアンスの強化

- 就業規則の改定と実施。
- 個人情報保護に対する意識を高めるとともに、社内ルールを策定するなど、より一層個人情報保護に高める。



サポート会員募集チラシ



# 東日本大震災 震災支援活動

## 未曾有の東日本大震災、現地からの支援要請を受け、緊急救援・支援活動を実施。

# 10

震災直後、長期実践型インターン事業に取り組む東北地域のNPO等から現地ニーズに基づいた支援要請を受け、緊急に以下の活動を通じた震災支援を行いました。

### ■救援物資の送付

仙台で地域おこしに取り組む「マルシェジャポン仙台」<sup>注1</sup>、「会津おにぎり隊」から「被災者の方々に炊き出しを行っているので、食料など物資が足りないの送ってほしい」という依頼を受け、計3回、現地へ救援物資を送付。

※実施に際しては、インターン受入企業より多大な協力を頂戴しました。

- 3.16 第1弾(菓子、醤油、味噌、レトルト食品、米、水など、約150kg)
- 3.22 第2弾(醤油、味噌、パン、米、約1,300kg)
- 4.07 第3弾(梅干、約36箱、10kg)



救援物資

### ■つなプロ@東海

被災地である東北のNPOセンターや全国のNPOと連携し、被災された方々への支援活動を行う「被災地とNPOをつないで支える合同プロジェクト」通称「つなプロ」<sup>注3</sup>。G-netは東海地方を拠点に活動する他の団体と連携し、つなプロ@東海として以下のような活動を実施・サポート。

- 現地へアクセスメントに向かうボランティアスタッフの募集～派遣
- 現地での活動報告会や、高校でのワークショップ
- ボランティアスタッフの現地までの交通費支援



### ■街頭募金、活動報告

街頭募金やWEBツールを通じ多くの方に活動資金を支援いただきました。活動の様子は、ブログサイトを立ち上げを随時報告しました。

### ■会

《収入》		金額	小計	合計
震災支援金	街頭募金、事務所基金箱	578,156		
	個人等寄付金	363,790		
	祝賀会参加者一同	19,000	960,946	
合計				960,946
《支出》		金額	小計	合計
支援金	寺子屋方支金	100,000		
	マルシェ・ジャポン センダイ	100,000	200,000	
救援物資第一弾	菓子、醤油、味噌、レトルト食品、米、汁粉、割箸、水等	90,388	90,388	
救援物資第二弾	醤油、味噌、パン、米	206,208	206,208	
救援物資第三弾	梅干	12,831	12,831	
つなプロ活動費	震災ボランティア交通費 11人	40,350	40,350	
通信費	ヤマト運輸 第1回支援物資送料	24,280	24,280	
雑費	搬込手数料	4,095	4,095	
合計				578,152
			残金	382,794



街頭募金の様子・ポスター

※残金は復興支援に取り組む団体へ支援金としてお届けします

注1.マルシェジャポン仙台は、行政と連携し、震災直後の3月14日から、まだ支援物資の行き届かないエリアでの炊き出し活動を開始。  
 注2.東京のNPO法人ETICと連携企業さまのご尽力で、直接届ける流通経路が確保され、また、行政等による支援活動が行き届かぬエリアを主な対象とした炊き出しであることから、G-netとして支援プロジェクトを実施することになりました。  
 注3.このプロジェクトは、NPOが持つ専門性を活用しながら、被災地において最も支援が必要であると思われる障がい者や外国人、難病患者などの少数者に対して、必要な支援を効果的に届けたいとして始まったものです。

# 平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書  
自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

特定非営利活動法人 G-net  
(単位：円)

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費・入金収入			
会費収入	10,029,000	10,029,000	
2 事業収入			
インターンシップコーディネイト事業	26,884,831		
その他 本法人の目的を達成するために必要な事業 コミュニティビジネス・創業支援事業	5,077,596		
その他	12,353,154	44,315,581	
3 寄付金収入			
寄付金収入	2,306,030	2,306,030	
4 雑収入			
受取利息	2,366		
雑収入	152,956	155,322	
収入合計			56,805,933
II 支出の部			
1 事業費			
インターンシップコーディネイト事業	25,747,318		
その他 本法人の目的を達成するために必要な事業 コミュニティビジネス・創業支援事業	4,129,484		
その他	11,359,478	41,236,280	
2 管理費			
仕入	66,600		
外注費	26,588		
広告宣伝費	555,384		
給料手当	3,361,356		
雑給	112,050		
法定福利費	1,008,151		
厚生費	340,349		
減価償却費	215,756		
貸借料	94,489		
修繕費	63,571		
事務用品費	845,243		
消耗品費	690,386		
水道光熱費	266,248		
旅費交通費	877,060		
租税公課	523,588		
交際接待費	188,370		
保険料	161,040		
通信費	655,965		
諸会費	73,000		
車両費	497,530		
新聞図書費	246,771		
地代家賃	1,870,480		
会議費	201,366		
研修費	53,334		
雑費	709,722		
支払利息	391,491		
支出合計		14,095,888	55,332,168
当期収支差額			1,473,765
前期繰越収支差額			-4,216,468
次期繰越収支差額			-2,742,703

# 平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成23年3月31日現在

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表  
平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 G-net  
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,897,415		
売掛金	18,085,165		
未収入金	364		
仮払金	254,430		
前払費用	549,999		
貯蔵品	75,600		
流動資産合計		30,862,973	
2 固定資産			
工具器具備品	96,127		
リース資産	1,323,000		
出資金	200,000		
預託金	16,940		
固定資産合計		1,636,067	
資産合計			32,499,040
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	22,500,000		
未払金	2,855,794		
源泉預り金	264,689		
社保預り金	303,831		
預り金	30,900		
仮受金	32,073		
流動負債合計		25,987,287	
2 固定負債			
長期借入金	7,865,306		
リース負債	1,389,150		
固定負債合計		9,254,456	
負債合計			35,241,743
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	-4,216,468		
当期正味財産増減額	1,473,765		
正味財産合計		-2,742,703	-2,742,703
負債及び正味財産合計			32,499,040



NPO法人G-net

〒500-8844

岐阜市吉野町6-2-2 ブラザービル2階

Tel.058-263-2162 Fax.058-263-2164

URL: <http://www.gifist.net>

URL: <http://www.honki-i.net/> (ホンキ系インターン)

**【お願い】**

2010年度より、賛助会員制度(※別紙参照)を本格的に運用しております。

G-netのサポーターとして、個人・法人問わず多くの方々に支えていただけますよう宜しくお願いします。